

Shudai  
Hyakkei

# 修大 百景



## アジア大会記念碑

設置場所



1994年10月、広島で第12回アジア競技大会が開催されました。そのメインスタジアムとなったのが、広島修道大学近辺に位置する「広域公園陸上競技場」でした。開催時には、アジア42の国と地域から選手・役員約7,000人近くが集まりました。

広島修道大学は、大学内のグラウンドをソフトボールやカバディの競技会場として提供しました。また大会ボランティアとして、学生・教職員が各会場や選手村などで活躍しました。

大会開催に合わせ様々なイベントが開催され、周辺地域は活気ある雰囲気になりました。

本誌へのご意見などありましたら、下記までお寄せください。  
本誌の記事・写真などの無断転載を禁じます。



### 広島修道大学

学長室総合企画課

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1  
TEL 082-830-1102 FAX 082-830-1324  
WEBサイト <https://www.shudo-u.ac.jp/>



広島修道大学公式SNS

@shudo\_u

@shudo\_university

@shudo\_university

@HiroshimaShudoUniversity

●TRUTHバックナンバー



# Truth

広島修道大学

No.222  
2023 AUTUMN

特集  
対談

株式会社イズミ  
代表取締役社長  
山西 泰明

広島修道大学  
学長  
矢野 泉

## 始まりは地域と人。歩み続ける両者の挑戦。



### contents

#### 3 特集対談

株式会社イズミ 代表取締役社長 山西 泰明  広島修道大学 学長 矢野 泉

### 始まりは地域と人。歩み続ける両者の挑戦。

#### 8 未来への探求

石田 崇 准教授 人文学部

#### 10 修大人の飛翔 -活躍する卒業生

濱村 洋平さん 旭鳳酒造株式会社 7代目蔵元 兼 杜氏

#### 12 修大人 -在学生紹介

高野 航太さん 国際コミュニティ学部国際政治学科4年

#### 13 海外留学記 From Korea

Lee Yebinさん

#### 14 Shudo×SDGs

子どもの自然体験活動推進プロジェクト

#### 15 サークルインフォメーション

ピックアップサークル

#### 16 学生広報スタッフ企画

#### 18 Campus News

#### 20 INFORMATION

#### 24 修大百景

アジア大会記念碑



●表紙撮影場所：図書館

2003年竣工。ゆとりある設計の館内は全面ガラス張りです。心地よい空間となっています。図書約91万冊、雑誌約11,000タイトル、視聴覚資料約24,000点を所蔵しており、蔵書数は中国地方の私立大学で1位\*を誇ります。また、2004年には中国・四国地方の大学図書館で唯一「日本図書館協会建築賞」を受賞しています。

\*旺文社「2023年度用 大学の真の実力情報公開BOOK」より



6号館の教室の窓から見えるイチョウ



秋の実りの1つに茸がありますが、幻の茸と言われる香茸(こうたけ)をご存じですか。独特の香りと深い味わいがあります。香茸はアカマツの混じった広葉樹林に発生しますが、収穫に適した時期が1年に1週間しかなく、とても高価です。山をよく知る人でなければ採ることができない茸で、県北の知人曰く、香茸の発生する場所は自分の子どもにも簡単には教えないとのこと。ただそれは、高価な香茸を独り占めするのではなく、山の植生を守ったり、小さすぎたり匂が過ぎたものは採らない等、次の年の実りにつなげていくためでもあります。香茸は生で食べると中毒を起すため、乾燥させて何度もアクをとり、塩漬けにする等かなりの手間をかけてやっと美味しくいただけます。県北の秋祭りや道の駅で香茸入りのおむすび等を見かけたら、香茸とその生育環境を次世代に受け継ぐ人々の想いや美味しく食べるための工夫や手間を感じながら、ぜひ味わってみてください。

本学でも、秋の実りを見つけることができます。ハーモニーロードのイチョウ並木、教室の窓から見える木々の紅葉の美しさもさることながら、キャンパスのあちこちで銀杏、どんぐり、栗等の山の恵みに出会えます。銀杏は通学時に踏みつぶされ、においや歩くときに滑ってしまうことが本学の課題の1つですが、課題を解決しながら有効活用したいものです。栗はここ数年少し小粒ですが、味はおいしさがしっかりつまっています。

広島修道大学の美しい秋も次世代へ引き継いでいきたいものの1つです。

学長 矢野 泉

# 始まりは地域と人。歩み続ける両者の挑戦。

株式会社イズミ 代表取締役社長

## 山西 泰明

静岡県出身。1977年、株式会社イズミに入社。1984年専務取締役、1991年代表取締役副社長を経て、1993年3月より代表取締役社長就任。



広島修道大学 学長

## 矢野 泉

広島県出身。商学部教授。広島大学大学院生物園科学研究科博士後期課程修了博士(農学)。専門は食料流通学。商学研究科長、ひろしま未来創センター長、副学長を務め、2022年4月より学長就任。



#### 株式会社イズミの歴史

- 1946 創業者 山西義政が広島駅前で露店を始める
- 1961 株式会社いづみ設立、スーパーいづみ第1号店オープン
- 1973 初の郊外型ショッピングセンター 祇園店オープン
- 1980 「株式会社イズミ」に商号変更
- 2011 イズミ創業50周年
- 2017 LECTがオープン

#### 広島修道大学の歴史

- 1952 修道短期大学商科(第2部)開学
- 1960 広島商科大学商学部商業学科開学
- 1974 西区観音から沼田キャンパスに移転
- 2010 四年制大学設立50周年
- 2015 鈴峯学園との合併、広島修道大学附属鈴峯女子中学校・高等学校として附属校化



# 地域と人に寄り添い続けたイズミの歩み

**矢野:** この度は本学と包括的連携協定を締結いただきましたこと、誠にありがとうございます。地域に根付いた沿革や歴史を持つことが御社と本学の共通点と認識しておりますが、イズミ様はどのようにして戦後の広島から現在のリージョナルスーパー\*の第一人者へと成長を遂げられたのでしょうか。

**山西:** 創業者である山西義政は戦時中に潜水艦の乗務員を務め、運良く戦争が終わって広島に戻ってきましたが、目にしたのは原爆により破壊された街でした。すべてを失った山西義政が、何もない広島駅前で始めたのは、戦時中同僚からもらった干し柿の販売でした。驚くほどよく売れたそうです。お客さまからは、他に肌着や足袋はないの等々何度も言われ、これからどのような事業をす

\*リージョナルスーパー…ここでは一つの県を越えて特定の地域で店舗展開を行う地域密着型のスーパーマーケットを指す。

れば人々に喜んでもらえるのかを考えていた山西義政が、たどり着いたのが衣料品の売買。当時、食べ物はもちろんですが、着るものも圧倒的に不足していたため、衣料品はずいぶん人気があったそうです。大阪で衣料品を仕入れ、広島で卸す事業をスタートし、1950年に衣料品問屋山西商店を設立しました。人々は衣料品が揃ってくると、次に求めるのが豊かな食料品。その気運を感じ取った山西義政は衣料品に加えて食品も雑貨も仕入れて、八丁堀に中国エリアでは初めての衣料品・雑貨・食料品が揃った統合小売店の1号店を開きました。このような形でゼロベースから人が必要としているものを肌感覚で自然に察知し、応えようとしたことが必然的にスーパーストアという業態になっていったのだと思います。

**矢野:** 現在の業態は広島の人たちの生活を支えるために懸命に過ごす中で生まれたのですね。商科大学として開学した本学も、広島商業や経済を支える人材を育成することを地域から求められて誕生した経緯があり、イズミ様の志に共感するところがあります。

**山西:** 創業者本人は分析して理論的に物事を進めたわけではなく、新しいチャレンジをしようという気負いもなかったと

思います。結果として時流を読む感覚があったことと、地域の人々に支えられて今の弊社があります。



**矢野:** 今のお話とも関係しますが、イズミ様の取り組みには「主役は地域」というキーワードが柱にあると思います。出店戦略や地元製造会社との商品開発など、地域でのこだわりを教えてください。

**山西:** 私たちは、地域産業と言っていますが、四国や九州地方の展開でも、最初からその地域をよく知っていたわけではありません。他の地域も広島の延長としてニーズを考えると、共通点もあるでしょうが、違うことも多くあります。日本は少子高齢化という問題が叫ばれて久しいですが、地域によっては人口が増えているところもあり、一律で考えるのではなく、地域ごとに合わせて対応することが必要です。私は静岡県で生まれ育ったのですが、1974年頃初めて広島の

お店を見たときには、マグロや納豆がほとんど売られていないことに驚きました。食品本部長に相談し、マグロ、納豆、せんべいを店舗で扱うと、すぐくシェアが伸びたんです。この時の経験から、率先して「地域にないものを提供する」という考え方が自分の中に生まれました。一方、広島エリアの食材も高品質なものは東京などに提供されるため、地域の人々が品質のいいものを食べられないという状況もありました。「地域の一番いいものをリーズナブルなお値段で提供する」ことも我々の役割だと感じ、運営方針としています。業態が変わっても、地域の方に必要なものを提供するという理念は創業当初と同じだと思っています。

**矢野:** 地域に根差したスーパーと聞くと、より地域に密着したものを扱うというイメージが湧きますが、それだけにとどまらず、全国のアンテナショップとして各地の良いものを広島の人々に届ける窓口という役割も果たしていらっしゃるのですね。

**山西:** 2017年に開業した「LECT」は今まで広島に進出していなかった県外企業様と地元企業様の中で、新たな価値を創造しようと果敢に挑戦する方々で構成しました。広島には素晴らしい商品が

沢山ありますが、地元企業様には一步先の新たな挑戦をしてほしかったのです。出店企業様も大変苦労されたと思いますが、このことが良い経験になり現在はさらに進化させた新規事業が他地域でできるようになったと言っていました。

**矢野:** 本学も地域の声を聞くという点では、2010年から地域つながるプロジェクトとしてさまざまな活動を展開しております。授業外で学生が主体となって地域で活動しており、これまで計144プロジェクトに延べ1,500名を超える学生が参加しました。学生の中にはこのプロジェクトに参加したくて本学に入学したという学生もいます。ただ、実際に現地へ行くと、学生が想定していなかった問題が発生したり、地域や世代であり方や考え方が異なっていることへの理解が活動当初は十分ではなく、苦しい場面にも直面します。それを乗り越えて、達成感に満ちた学生の活動成果発表を聞くのが毎年の楽しみです。新型コロナウイルス感染症の影響で中断した時期もありましたが、先輩が後輩に引き継ぎながら展開しているプロジェクトもいくつか出ています。

**山西:** 地域に貢献するためにプロジェクトを継続し、次の世代に引き渡されると



いうのは、素晴らしいですね。そういった学生が色々な思いを胸に社会に出てくるわけですから、弊社でも思う存分力を発揮できるような環境づくりに取り組んでいきたいです。

**矢野:** 実務家の方から実践的な話を聞く場を設け、学生が思い描く理想と現実の社会を結びつける授業を多く設けていることも、本学の強みの1つだと考えております。

**山西:** 今回お話を伺って、実務の世界と貴学の学問はしっかり融合しているのだと感じました。



イズミ本社2F「イズミ史料館」にて



# 変わらないものと、未来へつなぐもの



**矢野**：この秋、グランドオープンする「ゆめテラス祇園」は新しい業態だと伺っていますが、どういったイメージや想いを込められたお店なのでしょう。

**山西**：先程申し上げたように弊社は衣料品の卸からスタートし、ワンストップで生活必需品が揃う店という形で発展しましたので、いづみ祇園ショッピングセンター(当時の店名)がオープンした1973年にはまだ食品部門は力不足という状況。祇園店は初めての郊外店だったので、土日に車で来店するお客さまには便利な場所だったのですが、平日にもお客さまに来ていただくためには食品が強くないといけない。ここから弊社の食品の強化が始まったのです。青果

や精肉・鮮魚は専門的な知識やマニュアルが必要な世界で、私たちは全くの素人。そのため、取り掛かりやすい惣菜に力を入れようと考えました。自分たちができることをやろうと考えて取り組んだ惣菜が、結果的に今の基盤となっていますね。

**矢野**：祇園店が広島で初めての郊外型店というのは存じていましたが、惣菜に力を入れるきっかけになったのは知りませんでした。1990年中頃から私たちの食生活に広く普及していく中食を15年、20年前に先駆けていたのです。

**山西**：「ゆめテラス祇園」では、残していくものと新しくするもの、この2つを考えました。祇園店は新型コロナウイルス感染症の影響で中止するまで50年近く盆踊り大会を開催してきた歴史があります。地域とのつながりの原点となるお店なのです。盆踊り大会は次の世代にも継承し、残したいと考えています。祇園店はグランドオープンにあたり、地域の人が集う憩いのスペースになってほしいと思い、「テラス」と名付けました。新しくすることとしては、SDGsの観点からバリアフリーを採用します。以前の祇園店

は通路も狭く、お客さまにもご不便をかけていました。ダイバーシティの世の中では、どなたでも利用しやすいお店づくりをしていかなくてはなりません。

**矢野**：以前の昭和の雰囲気がある祇園店も好きだったのですが、未来に向けて何を残し、何を新しくするのか、取捨選択が大切なのです。本学も2025年の修道学園創始300周年を記念し、体育館の建て替え事業が進んでいます。今の体育館には学生たちの汗と涙、色んな想いが染み込んだ歴史があります。ですが、祇園店と同じようにバリアフリーの問題に加え、エアコンもないため、夏は熱中症を心配しなくてはなりません。老朽化もあり、建て替えることに決めたのですが、残すこと、新しくすることを考えながら事業を進めているところです。卒業生の中には変わらないでほしいと思う方もいるので、変わらない部分を説明し、ご理解いただきながら、新しい時代に向かっていきたいです。新しい体育館はゆめテラスと同じく、みんなが集まる場所が1つのコンセプト。地域に開かれた体育館をめざしています。

SDGsの活動では、食品ロス削減もイズミ様は率先して取り組まれていると思います。私の研究対象の1つが流通過程での食品ロス問題であり、消費者の目に触れない部分で大量の廃棄物を目にもすることも多く、それらの削減が課題だと考えています。イズミ様は販売期限の迫った商品を選びやすいように「てまえどり」のPOPを掲示したり、割引商品をまとめて陳列したり、食品ロスの「見える化」をいち早く取り入れられていました。

**山西**：弊社では以前よりビジネスの面から食品ロスのゼロ化を社員一同意識して行ってきました。そのため、他社と比較し全国でも廃棄量は低い方だと思います。ただ、これからの時代、地球環境を考えると、自分たちが良ければいいということではない。ご家庭の余っている食品をフードバンク団体へ寄贈する「フードドライブ」の活動もそうですが、お客さまと一緒に食品ロスをなくすという意識を共有していきたいと思っています。

**矢野**：若い世代ほどSDGsへの関心が高いように感じます。産直やCO<sub>2</sub>削減など、取り組むべき問題が沢山ありますので、これから地域、流通、食についてイズミ様と本学とで連携し、プロジェクトを通してさまざまな発信ができたかと考えております。多くの学生がプロジェクトに興味を抱くと思いますが、学生に対して期待することはありますでしょうか。



**山西**：2020年から3年間、コロナ禍により高校生や大学生だった子どもたちは以前は当たり前だったことがそうではなくなった時代を経験しました。今までの価値観が通用しないことを目の当たりにし、誰かの模倣ではなく、自ら考えて行動することの必要性を実感して得たと思います。これはこの時代の学生である皆さんしか経験していないことです。今後、社会に出たときにそれが糧となる場面がきっと訪れます。従来の常識が通用しない中、自ら考えて行動をしたという自信を持ち、社会に生かしてほしいです。**矢野**：本学の学生も影響を受けましたが、それをプラスと捉えて自分の強みと

して社会に生かす。若い世代にとって、勇気の出る言葉ですね。

**山西**：今回の包括的連携協定によって協力できるプロジェクトがあれば、学生の皆さんにはどんどん提案してほしいと思います。

**矢野**：山西社長のお話から、地域の人々の声に応え、さらに新たな価値を付加してきたイズミ様の歴史や根底にある想いを知ることができました。学生が取り組む地域貢献プロジェクトや社会に出たときのヒントとなるお話だったと思います。本日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。



▲左：広島修道大学 矢野 泉 学長  
右：株式会社イズミ 山西 泰明 代表取締役社長

## 広島修道大学と株式会社イズミが包括的連携協定を締結

9月29日、広島修道大学と株式会社イズミは、双方が有する知的資源・人的資源および物的資源の相互活用により、人材の育成と地域社会の発展に資することを目的として、「包括的連携協力に関する協定書」を締結いたしました。

連携協力事項は、①人材育成・教育活動に関すること②地域社会の持続的な発展・活性化に関すること③広島修道大学の研究活動を生かした研究開発に関すること④人的交流に関することなどがあげられます。

今後は学生とのSDGsプロジェクトの共同実施やインターンシップの拡充などで協力し、人材の育成とさらなる地域の発展に寄与していきます。



# 未来への探求

『「無意識」や「直感」の背後にある驚くほど精緻な言語の規則体系に惹かれて』

## 言語を比較すると何が見えてくる？

言語を比較すると、どのようなことが浮かび上がるのでしょうか。ここでは、日本語と英語を比較しながら考えてみます。早速ですが、「今日が水曜日であることを伝える場面」を想定して、(1)で指定された対人関係を意識しながら実際の発話を考えてみてください。おそらく多くの方は、(1)のそれぞれの場合に対して(2)のような発話を思い浮かべるでしょう。

- (1)a. 仲の良い友達に対して  
b. お世話になった先生や恩師に対して  
c. (受付係として)お客様に対して
- (2)a. 今日水曜日だよ。  
b. 今日水曜日です。  
c. 今日水曜日でございます。

このような観察から、日本語は対人関係によって文末の表現((2)の下線部)を調整する必要がある言語であることがわかります。では、英語の場合はどうでしょうか。英語は日本語とは異なり、“Today is Wednesday.”のような表現で、異なる対人関係に関わらず伝達することができます。つまり英語は、対人関係に応じて文法形式を変える必要のない言語であるということがわかります。

言語を比較すると、言語差が生じる理由やその背後にある規則体系が浮かび上がり、研究を進めることで各言語の特徴や性質が明らかになってきます。言語のことはその言語のことばかり見てもわかりません。私は、言語研究の中でも特に英語と日本語を比較して、人の言語の真相に迫る分野(「日英語対照研究」と呼ばれる)の研究をしています。

## 「言語を研究する」とは？

「言語を研究する」と聞くと少し仰々しく感じられるかもしれませんが、まず大切なのは、先述のとおり具体的な言語現象やデータを、その言語の母語話者による言語直感(「内省」と言います)を手掛かりに観察し、記述していくことです。一方で、言語研究の最大の関心は、それぞれの言語が見せる個性や特殊性よりも、すべての言語に通底する共通性や普遍性を明らかにすることです。

言語学の目的は、私たちが日常的に使う言葉の背後にある、極めて精巧な規則体系を明らかにすることです。我々人間はなぜ、誰からも教わらずに無意識に

これらの規則を使いこなせるのでしょうか。「英語学」は、この疑問に立ち向かう言語学の一分野であり、とりわけ英語を通じて言語の普遍的な原則や一般原理を探索する学問です。

## 言語学は実学である！

さて、これまでの一般的な言語研究は、「人と人」との間で伝達される現象を対象としてきました。一方で、私が行っている研究によって明らかになってきたのは、人と人との間で見られる無標の表現形態が、対「モノ」との関係においても同じように見られるということです。例えば、スマートスピーカーなどの音声入力に見られるような「人からモノへ」の情報伝達に限らず、道路標識や看板、その他公共の場における掲示に見られるような「モノから人へ」の情報伝達も含めて、好まれる表現が日英語で異なる点とその理由について原理的に説明してきました。例えば、街中の地図や建物内のフロアガイドを見ていると、地図やガイド自体とそれを見る人がどこに位置しているのかを示すために、日本語では「現在地」、英語では“You are here.”と表記されていることに気づきます。この比較から、英語では地図を見ている人をyouとして捉え、地図がyouに対して「語りかける」ような言語形式を用いる一方、日本語では自己を地図中に位置づけて自分が今いるところを「認識する」ような言語形式を用いることがわかります。英語をそのまま直訳した「あなたはここにいます」という表現は、地図上の日本語表

記としては不自然です。

先述のような英語の特徴は、英語圏のごみ箱に書かれた“Feed me”という表現(ごみ箱が自身をmeと指示しながら、ごみ(=エサ)を入れるように依頼している)や、猫の写真が貼ってある掲示物に“Have you seen me?”という表現(猫が自身をmeと指示しながら、迷子になってしまった自分の情報を提供してくれるように依頼している)にも見られます。これも「私にエサをください」や「私を見かけましたか?」のように直訳した表現は日本語表記としては不自然に感じられます。なぜこのような違いが生じるのでしょうか。その理由と説明は、画像③の第9章「言語使用の三層モデルから考える虚構的インタラクション」(納谷亮平・石田崇)で詳細に説明していますので是非ご覧ください。

こうした研究の意義は、言語学だけでなく、心理学や情報科学、人工知能とのインターフェイスを含む工学分野などの、幅広い学際的研究への発展が期待される点にあります。人文学という学問は、「我々(人間)は何者であるのか」という問いに多角的な視点から取り組む分野であり、言語学はまさに「言語」という側面からこの問いに向き合う学問です。この点で、「言語学は(あるいは人文学はすべて)実学である」と言えますし、私もこの意識で日々の研究に取り組んでいます。

最新の研究ではどのような説明がなされているのか、興味を抱いた方は、池上嘉彦(2006)『英語の感覚・日本語の感覚—くつばの意味のしくみ』(NHK出版)、廣瀬幸生・他(2017)『三層モデルでみえてくる言語の機能としくみ』(開拓社)や下の画像③の本を是非手に取ってみてください。



画像①「現在地」，“You are here.”



画像②“Feed me”と書かれたごみ箱のイメージ図



画像③ 廣瀬幸生・他(2017)『比較・対照言語研究の新たな展開—三層モデルによる広がりと深まり』開拓社

人文学部准教授

石田 崇

詳しくはこちら



プロフィール

筑波大学 大学院人文社会科学部 博士課程修了  
博士(言語学)  
専門分野: 英語学、日英語対照研究  
主要研究テーマ: 理論言語学を用いた言語間比較、名詞修飾および形容詞派生

# 修大人の飛翔

活躍する卒業生

GRADUATES  
MESSAGE  
Vol. 48

旭鳳酒造株式会社  
7代目蔵元 兼 杜氏

はま むら よう へい  
濱村 洋平さん

商学部経営学科 2012年3月卒業



詳しくはこちら



## 社会への意識が芽生えた 学生時代

大学入学前は漠然と考えていましたが、実家が醸造業を営んでいる背景から、経営学を学ぶことを意識して広島修道大学への進学を決めました。大学3年の時、「起業家精神養成講座」の授業で受けた刺激は、今でも印象に残っています。授業で取り組んだ新事業の立案も刺激になり、また、実際に起業された先輩方の誇りを持ってお話しされる姿に、純粋に憧れたのを覚えています。沢山のエネルギーをもらい、同時に、視野が広がり社会への意識が強く芽生えた瞬間でした。

学業以外でも、サークルや、参加したイベントで知り合った多くの人との繋がりは今でも仕事に生かされています。広島の地元で根付いた大学であり、学生数の多い広島修道大学だからこそ、多くの出会いに恵まれ、仕事に繋ぐことができたと思っています。

## 7代目蔵元 兼 杜氏として

当初家業を継ぐタイミングなどは具体的には考えていませんでしたが、在学時代に少しずつ「蔵を継ぎたい」と思うようになりました。先代である父に「お前は好きなことをせえ」と育てられ、在学中自由にさせてもらっていたことも、自発的に家業を継ぐ意識が生まれることに繋がりました。

大学卒業後、蔵を継ぐ姿勢を見せることを意識して醸造業のあらゆることを経験しました。26歳のときに父が亡くなったことから7代目蔵元へ就任し、葬儀の時に「親父の為に酒を一本造りたい」と思い立ち、一から酒造りを学びました。翌年には杜氏\*を兼務し、自分の納得する味の酒を造ることができました。それにより熱量を持って酒の案内をしています。

現在は「蔵のある可部でしか造れない酒、旭鳳でしか表現できない味わい」をキャッチフレーズに、「地元可部の象徴として酒蔵の伝統を残していきたいと考えています。そのために、地元の水や広島原材料を使用し、地域性や蔵の個性を大切にしています。可部に人を呼び込める酒蔵であり続けることで、地元への恩返しをしたいと考えています。」

## 人生を豊かにする存在

若くして蔵元となった私にとって、酒は「人生を豊かにする存在」です。これまで様々な人との御縁をつなぎ、出逢いの中で見識を深めることができたのは、私なりに考える「酒の役割」を大切にしてきたことも大きいです。酒があることで、その空間が和み、その場にいる人とのコミュニケーションを深め、また、日本酒があることで食事が彩られ美味しくなります。今後も

御縁をつなぎ、生まれ育った街、可部から「旭鳳」を全国に伝えていきます。

## 繋がりにから還ってくるもの

学生時代は、様々なことに挑戦する時間がある時期だと思います。私自身、留学を経験しておきたかったなど今でも思っているので、学生のみさんには積極的に挑戦してほしいと思います。自分が興味を持ってアクションを起こしたことで出会った人は、自分と同じような価値観を持っていると思うので、その繋がりを大切にしてほしいと思います。そして、その繋がりを自ら断たないことが大切です。後々に良いものとなって還ってくるかもしれません。

## 私のターニングポイント

父の死をきっかけに、26歳で蔵元、27歳で杜氏に就任。2つの職を兼務するのは弊社としては初めての試みでしたが、「旭鳳」という酒造りの味の軸を創り上げることに繋がりました。



▲7代目蔵元就任時の写真



▲醗酵タンク内をかき混ぜる作業



▲蒸しあがったお米の放冷作業

\*杜氏…酒造りの職人を統率する製造の最高責任者



高野 航太 (タカノ コウタ)さん  
国際コミュニティ学部国際政治学科4年  
広島県立広島観音高校出身

## 日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画に参加

### メキシコへの興味はスポーツから

広島東洋カープのドミニカ共和国出身選手のファンだったことから、広島在住のドミニカ共和国出身の方とSNSで交流を始めました。そのことをきっかけに中南米に興味を持ち、スペイン語で交流したいと思うようになりました。スペイン語の個人レッスンをしていたいただいたメキシコ人の先生から、日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画のことを教えていただき、スペイン語力向上とメキシコ文化に触れることを目的に応募しました。広島県は1名の募集枠でしたが、東京オリンピックで聖火ランナーを務めたことや、SNSなどで積極的に海外の方と交流していることなど、目標を持って意欲的に活動していることが評価され、研修生に選ばれました。

### 目標を全て達成した充実の研修生活

2022年10月から2023年7月までの10か月間、メキシコ国立自治大学の語学学校でスペイン語を学びました。スペイン語の基礎的な文法を一通り学び、スペイン語の習得に努めました。多国籍の人が集うクラスであったため、授業で様々なテーマを議論する際に国際情勢の話になることもありましたが、大学で

学んだ国際政治学の知識を生かし、自信を持って議論に臨むことができました。友人も沢山でき、メキシコで有名な「死者の日」や、お祭り好きなメキシコならではの盛大なパーティーに参加するなど、様々なメキシコ文化を体験できました。また、広島東洋カープとメキシコの野球チームのユニフォームを交換したり、メキシコ人に日本料理を振舞ったり、広島や日本の文化を伝える活動にも精力的に取り組みました。語学学校での学び以外に、広島県と友好提携を結ぶグアナフアト州での研修もあり、在レオン日本国総領事館やマツダメキシコへの訪問など、貴重な経験ができました。

研修中は、日墨生(日本からともにメキシコに来ている研修生)と近況を報告し合うなど、非常に意識の高い集団の中で、研修を全うすることができました。スペイン語の学習、現地の人との異文化交流など、研修前に設定した目標を全て達成できた充実した10か月となりました。



メキシコの友人と野球のユニフォーム交換

### 夢は日墨の発展に貢献すること

これまでも異文化交流を行ってききましたが、実際に現地でメキシコ文化を肌で感じたことで、異文化理解力がより高まったと思います。スペイン語が上達するにつれて、より多くの人とコミュニケーションを取れるようになったことから、スペイン語力向上の意欲がさらに高まったので、引き続き学んでいきたいです。

また、社会人の日墨生や現地で働く日本人との交流で、今後の進路の視野が広がりました。現地の野球やサッカーのイベントに参加した際に、スポーツを通じた交流は自分が最も力を発揮できると手応えを感じたため、将来、日墨のスポーツの交流に携わり、両国の発展に寄与できればと考えています。

### 積極的な行動が思いもしない経験に繋がる

スペイン語を学びたい、メキシコ文化に触れたいと思い行動したことが、今回の研修参加に繋がったと思います。メキシコでも、積極的に話しかけることを心掛け、それを実践したからこそできた経験が沢山ありました。自ら積極的に行動することで、想像もしていなかった経験に繋がることが多くあると学びました。どんなことにも積極的にチャレンジしてみてください。

※日本・メキシコ合衆国両政府による両国の戦略的グローバル・パートナーシップの強化に貢献できる若手人材を育成することを目的とした研修。

# 海外留学記 From Korea



Lee Yebinさん  
(イ イェビン)  
From: 啓明大学校 (大韓民国)  
留学期間: 2023年4月~2024年1月



## 01 広島修道大学に留学に来たきっかけは?

日本のことが好きで、大学で日本についての勉強をしていましたが、日本に行ったことはありませんでした。大学生のうちに何かにチャレンジしてみたいという思いと、せっかくなので旅行ではなく、日本に住んでみたいという思いから、日本の大学に交換留学することを決めました。

数ある日本の協定校の中で、広島修道大学への留学を決めたのは、2022年に啓明大学で行われた日本人留学生向けの韓国・韓国語セミナーにパディ(留学生をサポートする学生)として参加したことがきっかけでした。セミナー生で一番多かったのが広島修道大学の学生で、また彼らに会いたいなと思い、広島修道大学を留学先にしようと思いました。

## 02 広島修道大学での学びは?

留学に来て、実践的な日本語を学ぶことができていると感じています。例えば、新聞記者をしていた先生の授業を日本の時事問題やトレンドに触れることができるのではと考え、受講しました。授業中、意見交換をするので、日本人学生の意見を聞き交流することもできて、とても新鮮です。また、「多文化交流プロジェクト」という留学生と日本人学生と一緒に受講する授業では、様々な課題と一緒に取り組むうちに仲良くなることができました。

韓国の大学では、主に文法、語彙などといった、言語的な日本語を勉強していたので、留学に来て実践的な日本語を学ぶことは、とても新鮮でした。日本語の勉強は難しいのでまだまだ頑張ろうと思います。

## 03 日本の魅力は?

地域ごとに個性が強いところが好きです。都会や田舎に関わらず、どの地域にもそこだけの個性があり、違う魅力があって、色鮮やかな国だと思います。また、日常生活で、着物などの伝統衣装をよく着ているところが、本当にいいなと思います。『とうかさん』で、浴衣を着ている人々を見たときは、韓国との文化の違いに驚きました。

韓国の伝統衣装であるハンボクは、結婚式のときに一回、着るか着ないかぐらいなので、羨ましい気持ちがあります。

## 04 広島修道大学の魅力は?

留学生が暮らすインターナショナルハウス(iハウス)※は、横川駅の近くにあり、交通の便もよく、設備も整っているのもとても暮らしやすいです。部屋は個室ですが、キッチンなどは共有なので、食事の際にはほかの留学生と仲良くなることができます。また、留学生が作る様々な国の食文化に触れることもできます。留学生とペアになり、留学生生活をサポートしてくれる日本人学生のパディ学生とは、ペア以外でも仲良く、パディ学生の実家にみんなで遊びに行ったりします。私は、福山市や島根県に遊びに行きました。

修大生と仲良くなれる環境が整っているのも広島修道大学のいいところだと思います。



iCafeで日本人学生と談笑している様子

## 05 夢・目標は?

将来は日本で働きたいと考えています。まだ具体的には決まっていますが、広島ローカル企業に興味があるので、できればまた広島に戻ってきたいです。

※インターナショナルハウス(iハウス)…広島市中区にある主に交換留学生が宿舎として利用できる施設。暮らしをサポートする日本人学生と留学生が共同で生活しています。

## 子どもの自然体験活動推進プロジェクト



人間環境学部では、人間と社会の相互関係を分析し、多様な人々と協働して環境について学修するための「フィールド科目群」を設けています。この中の「環境プロジェクト」科目では多様なフィールドとテーマにチャレンジする複数のクラスを開講しています。

このうち「子どもの自然体験活動推進プロジェクト」クラスでは、子どもを対象とした自然体験活動を行っている団体や専門家と連携しながら、学生自身が企画・実践して自然体験活動の運営を担います。



子どもたちの自然体験、生活体験、社会体験といった機会の減少は1990年代から指摘されています。これらの充実が社会的に求められている背景もあり、自然体験活動の企画者・実践者となる学生を育てています。

2023年度の前期授業では、15名の学生が「NPO法人これからの学びネットワーク」、「NPO法人ひろしま自然学校」の協力を得て、自然体験活動の具体的な指導方法や安全管理について学び、子どもたちとの活動プランをグループに分かれて企画しました。



7月8日に実際に放課後児童クラブ「コレマナ五日市」の児童約30名の子どもたちを大学キャンパス内の圃場と里山に迎え、「森のお弁当づくり」、「自然クイズ」、「植物探検隊」などの自然を楽しみながら学習するプログラムを実施しました。

実施後、学生からは「子どもたちは予測不能な行動をとるため、どうやって子ども達の目を自分達の企画に向けさせるかを考えながら実行することは非常に難しく、苦労した。」「事前の準備の大切さや想定外の出来事が起こったときに柔軟な対応が必要なことを学んだ。」などの感想や反省がありました。

後期授業では今回の体験や反省を生かし、別の放課後児童クラブの児童を迎え、10月に秋の自然を満喫する活動を企画し実施します。



詳しくはこちら

## 水泳部

## 第54回中国四国学生選手権水泳競技大会で好成績



7月1日～2日、ひろしんビッグウェーブで第54回中国四国学生選手権水泳競技大会が行われ、個人競技、リレー競技で男女ともに好成績を収めました。

個人競技の主な結果としては、男子200mバタフライで平松 直也さん(人間環境学部人間環境学科3年)が優勝し、2年連続日本インカレへの出場を決め、男子400m自由形でも3位入賞することができました。また、女子200m平泳ぎでは山内 萌加さん(健康科学部健康栄養学科1年)が3位で表彰台に上がり、女子100m平泳ぎでも4位に入賞することができました。

リレー競技においても女子4×100mフリーリレー、男子4×200mフリーリレーともに8位に入賞することができました。その他にも自己記録を大幅に更新するなど、多くの選手が好成績を収めることができました。



詳しくはこちら

## ピックアップサークル

### ラグビー部



ひとはみんなのために、みんなはひとりのために

私たちの部は設立から50年以上の歴史があります。ラグビーの精神「One For All, All For One」を大切に、14名の仲間と共に楽しく楕円球を追いかけています。部員は、未経験者から全国大会出場者まで個性的で多様です。また、地域との交流も積極的に行っており、小学生から社会人まで様々な世代のチームと定期的に合同練習など実施しています。

広島県のリーグ戦での優勝、そして全国大会への出場を目標に活動しています。今年はさらに部員一同気持ちをひとつにし、目標に向かって頑張っています。今年はラグビーワールドカップイヤーです。これを機にラグビーファンがさらに増えることを期待しています。

### フォークソング部



自由に好きな音楽を

私たちフォークソング部は、30人で活動しています。主な活動は、バンドを組んで演奏することで、部員同士が自由にバンドを組んで好きな時間に練習をしており、自由度が高いところが特徴です。また、他学年との交流も多く、学年関係なくバンドを組み、活動しています。他大学のフォークソング部との繋がりがあるため他大学との交流やライブなど演奏の機会が多いのも特徴です。

8月には1年生のお披露目ライブとなる定期演奏会を広島市内のライブハウスで開きました。

今後の活動は、他大学主催のライブへの出演、大学祭ステージでの演奏、部内定期演奏会などを予定しています。

## CIRCLE SCHEDULE

サークルの大会・イベントなどの活動スケジュールを大学WEBサイト「クラブ・サークル」ページ内で公開しています。以下の2次元コードからアクセスし、「大会・イベントスケジュール」を選択してください。



# 修大生の「“推し”スポット」を紹介します!!

学生広報スタッフが「広島修道大学付近のおすすめ(推し)スポット」をテーマに、広島修道大学の学生へアンケートをとり、お店にインタビューし、記事作成しました!

## 1 cafe little teapot

修大生の推しPoint! ◎アストラムライン沿いで気軽に行きやすい!  
◎使用する食材は自家製、地域の野菜を使用しているところ



### 推しメニュー

昭和レトロプリン  
495円(税込)

店内は昭和の「レトロポップ」に焦点を当てています。そのイメージにあうこの商品は、プリン独特の優しいフォルムに、固めてぼつりと蒸し焼きに仕上げ、そこに無添加の自家製ドライフルーツを添えることで、ドライフルーツの酸味がプリンの甘みを最大限引き出しています。また、カラメルには程よい苦みがあり、甘み・酸味・苦みを持ち合わせた大人なプリンとなっています。



店主:島田 美香さん

### お店のPR

修大は私の母校で青春がたくさん詰まった場所です。学びや恋や人生に悩むとき、ホッとひと息つきに来てください。お喋り好きな店主にも声をかけてみてね!

### 修大生のイメージ

今の修大生はまじめで礼儀正しい子が多いイメージ。先輩たちが可愛いから応援したくなる!

住所:広島市安佐南区大塚西2-10-10  
電話:082-849-5808  
営業時間:10:00~16:00  
定休日:月曜日、第2・第4日曜日(繁忙期は営業)

## 2 珈琲豆焙煎処 おます珈琲

修大生の推しPoint! ◎自家焙煎珈琲豆を使用しているため香りが良い



### 推しメニュー

おます特製アイスコーヒーリキッド  
880円(税込)

夏限定販売で、インドネシア産の豆「マンデリン」を使用しています。「マンデリン」は、飲みやすさも高レベルながら、高級感のある商品です。また、濃い目の抽出になっているため、好みの濃さに調節しながら飲むことができます。

商品購入時に飲み方について詳しく説明いただけるので、珈琲の飲み方がわからない方でも気軽に購入できる商品です。



店主:増田 慎司さん

### お店のPR

世界で最も飲まれている飲み物である珈琲のおいしさがわかる大人になるために、ぜひ当店を利用してほしいです。珈琲に興味のある方はぜひ気軽にきてみてください!

### 修大生のイメージ

大人しく、真面目な方が多いイメージがありますが、珈琲の話をしている時に楽しそうに聞いてくれる印象もあります。また、修大生の家族の方も来店して下さるので、家でも当店の話をしてくれているような印象があります。

住所:広島市安佐南区大塚西3-23-5  
電話:082-555-8865  
営業時間:平日10:00~18:00 土日10:00~18:00  
定休日:毎週火曜日、水曜日

### 推しメニュー

つけそば(並盛)  
900円(税込)



化学調味料や添加物を一切使っておらず、麺やメンマなど、全てお店手作りの商品です。麺は、石臼で引いた北海道産の全粒粉を使用され、ミネラル豊富で血糖値の急激な上昇を抑える効果があります。メンマは、炒めた状態で提供することでコリコリとした食感が生まれ、味だけでなく具材の食感も楽しめる商品となっています。

さらに、つけだれには広島県産のお米で作られたセンナリの米酢を使用しており、普通の酢の作り方とは異なった静置発酵という酢酸菌の力のみで発酵させているため、米の旨みも感じることができます。

### お店のPR

全ての食材が意味を持って作られているので、食べているものをしっかりと感じながら食べてほしいです。

### 修大生のイメージ

いつも友達や後輩を連れて食べに来てくれますし、卒業してからも食べに来てくれる印象があります。



## 3 つけそば 周一

修大生の推しPoint! ◎大学の近くにあるので行きやすい  
◎麺が太いので食べ応えがある!



店主:熊本 一夫さん

### お店のPR

全ての食材が意味を持って作られているので、食べているものをしっかりと感じながら食べてほしいです。

### 修大生のイメージ

いつも友達や後輩を連れて食べに来てくれますし、卒業してからも食べに来てくれる印象があります。



住所:広島市安佐南区大塚西4-8-13  
電話:082-848-2733  
営業時間:昼11:30~14:30 夜18:00~21:00  
定休日:毎週火曜日、第一月曜日

## 4 patisserie joli fils

修大生の推しPoint! ◎しっとりザッハは甘すぎず飽きない味が良い



### 推しメニュー

しっとりザッハ  
454円(税込)

とてもしっとりとした口当たりの良い濃厚なチョコレート生地をパリパリチョコレートでコーティングし、子どもでも食べやすいようにお酒は一切使用していません。また、素材は変えずに独自の方法で季節ごとのチョコレートの風味に違いを持たせています。

チョコレート本来のおいしさを最大限引き出す、チョコレート好きにはたまらないケーキとなっています。

### お店のPR

日本の美しい四季を大切にしているからこそ、季節の商品を楽しんでもらいたいです。

### 修大生のイメージ

ゼミなどの差し入れで、学生や先生も当店をご利用いただいております。親しみがあります。



パティシエ:竹田 莉奈さん



住所:広島市安佐南区伴中央2-1-8  
電話:082-849-0026  
営業時間:9:30~19:00  
定休日:火曜日

### 広報スタッフ私たちが取材しました!

左から  
若宮 悠(わかみや ゆう)国際コミュニティ学部国際政治学科3年  
金本 凜周(かねもと りんしゅう)法学部法律学科1年  
加藤 瑠菜(かとうるな)国際コミュニティ学部地域行政学科2年  
林 陽花(はやし はるか)国際コミュニティ学部地域行政学科2年  
齊藤 翔(さいとう かける)法学部法律学科3年  
佐伯 里呼(さえきりこ)法学部法律学科2年





## 前期学位授与式を挙行(9/27)

2023年度前期学位授与式を7号館学術ホールにて挙行。矢野学長より、学部生36名に学位記が授与され、学長告辞では「不安定で確かな社会は、私たちが不安にさせる一方で、私たちの行動、特に皆さんの世代の行動が世界を変える大きなチャンス。本学で培った力を基礎に、新しい社会の仕組みや価値感をそれぞれの行動で築いていってください。」とエールが送られ、来賓祝辞などにより新たな門出を祝った。



## 高大連携公開講座・公開授業を開催(7/31~8/8)

高校生を対象として企画された6講座と、大学の正規授業へ履修生として参加できる公開授業を1講座に、延べ346名の高校生が参加した。8月2日、3日に開講された「はばたけ未来にむけて—大学での学びと私たちの未来—」では、本学での学びについて紹介。参加者より「自分の将来と進みたい学部学科を結びつけることができた」「キャンパスライフを想像できた」等の感想が寄せられた。



## オープンキャンパスを開催(7/15・16・8/20)

7月から8月にかけての計3日間、オープンキャンパスを開催。キャンパスツアーでは、グループごとに分かれて学内施設をShuddy's(修大生)が案内。大学概要と入試説明に加え、学部別相談やサークルパフォーマンスなども実施。新型コロナウイルスによる制限が緩和され、今年度はランチ体験が復活。キッチンカーも招いた。その他、模擬講義や入試対策などさまざまなプログラムを通して、本学の魅力を発信した。



## 前期交換留学生修了式を開催(7/31)

交換留学生14名の修了式を学術ホールにて開催。矢野学長が修了証を一人ずつ手渡し、「学んだことを自らの糧とし、活躍する力にしてください」と激励した。留学生は日本語でのスピーチで「友人や先生たちとの出会いは、一生の宝物」と感謝の言葉を述べ、修了式後の懇親会では、パディ学生らとの別れを惜しんだ。後期は新たに10名の交換留学生を受け入れる。



## 地域応援募債「つなぐココロ」寄贈式(6/29)

テラスホールディングス株式会社、西日本シティ銀行、本学の三者による、地域応援募債「つなぐココロ」寄贈式を実施した。移動式防球ネット、コンプレッサー、バレーボールのご寄贈をいただいた。



## 侍ジャパン女子野球日本代表が表敬訪問(7/6)

侍ジャパン女子野球日本代表が、三次きんさいスタジアムでの強化合宿をするにあたり、団長と選手4名が本学を表敬訪問。大会への意気込みや女子野球の普及についてなど、和やかな懇談となった。



## 災害ボランティアリーダーのための研修会を開催(8/3)

講師にひろしまNPOセンター増田理事と、SKY協働センター大迫代表をお招きし、災害ボランティアネットワーク登録者を対象とした研修会を開催。災害時にボランティアリーダーとして活動するためのノウハウや知識を6名の学生が学んだ。



## CultureJam2023を開催(6/24・25)

今年のテーマは「Pleasure」。音楽系サークルによる演奏やダンス部のパフォーマンス、ジャグリングなどの他に、絵画や書道、漫画や建造物の地域探訪記録など、さまざまな作品を展示した。



## 国家資格の公認心理師試験に3名合格(7/21)

第6回公認心理師試験に人文科学研究科心理学専攻臨床心理学領域の2023年3月修了生3名が合格。これまでに本学から受験した修了生の合格率は100%。今後は、医療、教育、福祉などの多様な分野での活躍が期待される。



## 修道力フォーラムを実施(8/4)

「大学に求められる改革」をテーマに、2023年度第1回FD・SD研修会「修道力フォーラム」を実施。東北学院大学の太西晴樹学長にご講演いただき、改革の必要性や課題を考える機会となった。



## 日本語・日本文化セミナーを開催(7/3~7/27)

日本語や日本文化の知識の修得を目的に、留学生を対象としたセミナーが4年ぶりに対面で開催。本学の海外協定校3校から14名が参加し、日本語や日本文化を学んだ。



## 学長杯水泳競技大会「修大チャレンジカップ」を開催(7/29)

第19回広島修道大学学長杯水泳競技大会「修大チャレンジカップ」を開催。過去最多となる県内14高校が参加。本学水泳部と合わせて総勢141名が24種目の競技に挑んだ。(写真は最優秀選手を輩出した瀬戸内高校水泳部のみなさん)



## 教育懇談会を開催(9/16)

広島修道大学後援会との共催で「教育懇談会」を開催し、約140名の保証人が参加。午前は学生によるShuddy'sの活動や就職活動の体験談、学部説明会等、午後からは個人面談を行った。



## 第63回修大祭 11/3

### テーマ『輪～想いと笑顔を繋げて～』

今期のテーマに含まれている「繋」と「想」は、それぞれ61回と62回の大学祭のテーマの一部です。コロナ禍で沢山のことが制限されたこの2つの大学祭に対する様々な気持ちが今期で一つの輪となり、大学祭を一生の思い出にしていきたいという思いが込められています。

今年度の大学祭は4年ぶりにコロナ禍以前の形式に戻して修大祭を行います！

#### 昨年度からの主な変更点

- ・一般客の来場可
- ・受付時の身分証確認なし
- ・人数制限なし
- ・飲食物を調理・提供する屋台も出店

- 駐車台数に限りがあるため、公共交通機関の利用にご協力をお願いします。
- 詳しいタイムテーブル、企画紹介については本学公式WEBサイト掲載のパンフレットをご確認ください。



同時開催 ホームカミングデー 2023

- プレイグラウンド企画**
  - ★ステージ
    - ・お笑い芸人ライブ&サイン抽選会
    - ・豪華景品が当たるビンゴ大会
    - ・各サークルによるバンド演奏やダンス披露 など
  - ★水泳部やアイススケート部など25団体が屋台出店
  - ★夜にはイルミネーションも点灯
- 講演会**
  - ★芸能人ゲストによる講演・トークショー (ゲストについてはWEBサイトをご確認ください)
- ウッドステージ企画**
  - ★演武祭やサークルによる演奏会/作品展示
  - ★修大生による様々なパフォーマンス
  - ★子どもも楽しめるマジックショー など
- 体育館前企画(第2駐車場開催)**
  - ★食品フリーマーケット
  - ★スタンプラリー など
- キャンドルナイト企画(体育館前・ハーモニーロード開催)**
  - ★キャンドルが修大祭の夜を彩るライトアップイベント
  - ★プロジェクションマッピング初開催



## 修大祭と同時開催 卒業生対象 ホームカミングデー 2023

卒業生対象ホームカミングデーを16年ぶりに開催！  
本学卒業生であればどなたでもご参加いただけますのでぜひご参加ください。

日時: 11月3日 13:00~15:00  
会場: 3号館(3101教室)  
申込方法: 2次元コードよりお申し込みください。  
主なプログラム: 市川薫名誉教授による講演会



・懐かしのパネルを見ながら立ち飲みカフェでの喫茶談話 など



### 刊行物紹介

本学教員の著書を紹介しします。紹介文は先生ご自身よりいただいています。

#### 『広島爆心都市からあいだの都市へ:「ジェンダー×植民地主義交差点としてのヒロシマ」連続講座論考集』 [執筆等教員] 河口 和也(人文学部) 高雄きくえ編 インパクト出版会 2022年11月 429ページ 3,300円(税込)

本書は、タイトルにある2021年に行われた連続講座の論考集です。「ジェンダー×植民地主義」というインターセクショナルな視点から「広島」をまなざすものとなっています。河口は「セクシャル・マイノリティとフェミニズムの対話」のセクションで、「家族から疎外される／を求める性的マイノリティ」と題して、性的マイノリティが異性愛でシスジェンダーの家族に生まれることから、従来家族を批判的にとらえ、またむしろそこから疎外されてきた歴史のなかで、近年のパートナーシップや同性婚をとらえて新しい家族を求めている社会的背景や社会構造の問題にアプローチしています。



#### 『クリア・スタディーズをひらく3 健康/病,障害,身体』 [執筆等教員] 河口 和也(人文学部) 菊地夏野、堀江有里、飯野由里子編著 晃洋書房 2023年3月 244ページ 2,530円(税込)

1990年代に始まったクリア・スタディーズは、1980年代の世界的なエイズパンデミックを背景として、ある種アイデンティティ批判の文脈で生まれた学問領域です。本書は、近年の日本におけるクリア研究の現段階での見取り図を示し、これまで放置・忘却されてしまった問題を各論者が取り上げています。河口は、とくにアメリカにおける1980年代のエイズとゲイ男性をめぐる表象のポリティクスとしてジョン・グレイソン監督の映画『ゼロ・ベシエンス』を分析しています。エイズというネガティブな現実を、ミュージカル仕立てで表象する批評的映像表現のなかに、クリアの理論指向性とその政治性を読解するものです。



#### 『アメリカ研究の現在地: 危機と再生』 [執筆等教員] 塩田 弘(人文学部) 伊藤詔子、中野博文、肥後本芳男編著 彩流社 2023年2月 388ページ 3,850円(税込)

現代のアメリカを理解するため、主に20世紀後半のアメリカの変化について論じた本で、中・四国アメリカ学会50周年記念出版。塩田は「西部文学」から『エコトピア国の出現』へー伝統と改革の「西部」の章で、アメリカの西部に起こった草の根のエコロジー運動について、1975年と1981年に出版されたアーネスト・カレンバックの近未来SF2冊を中心に論じ、生態地域主義の可能性について言及しています。





夏号から始まった連載「新体育館完成までの道のり」。第2回となる今回は、本格的に始まったテニス・バレーボールコート工事の進捗状況をお届けします！

新体育館は、建設予定地にある現在の第1グラウンド(テニスコート、バレーボールコート)の移設(Step①)、新体育館の建設等(Step②)、現体育館解体等(Step③)の3ステップで工事を進めています。

現在は、Step①が完了し、これからサークル等で使用されます。



## 工事等の様子

### ○新テニスコート

7月5日

現在のサブグラウンドで、新テニスコートの建設工事が始まりました。照明柱や新しい階段の建設が進んでいます。



照明柱建設の様子

8月8日

照明柱の設置が完了し、路盤工事や防球ネットの設置が進みつつあります。



路盤工事

8月23日

人工芝が敷かれ、段々とテニスコートとしての形が見えてきました。



人工芝敷設工事

10月6日

新テニスコートが完成しました！



テニスコート

### ○新バレーボールコート

7月25日

現在のプレイグラウンドで新バレーボールコートの工事が始まりました。グラウンド内に透水性配管を設置しています。



造成工事の様子

8月10日

コート表層の改良もおわり、ラインテープの設置が完了しました。



舗装工事

10月6日

新バレーボールコートが完成しました！



バレーボールコート

## 寄附金のお申し込みについて

学校法人修道学園 創始300周年記念  
新体育館建設事業寄附金

広島修道大学の更なる発展にける思いをご理解いただき、新体育館建設事業寄附金募集に格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募集期間 2022年6月1日～2026年3月31日

募集単位 1口5,000円 2口以上  
※1口未満のご寄附もありがたくお受けいたします。



新体育館建設事業寄附金  
お申込みはこちらから



## 寄附者への顕彰

ご寄付を賜りました皆様には、心より感謝申し上げますとともに、功績をたたえ、さまざまな形で顕彰させていただきます。

### ・特典

ご寄附いただきました方全員に新体育館建設を記念した大学オリジナルグッズを差し上げます。

### ・ご芳名録

感謝の意を込め大学広報誌「TRUTH」(掲載年1回)及び本学公式WEBサイトに、寄附者ご了承のもと、ご芳名録を掲載させていただきます。

### ・銘板

寄附者のご了承のもとご芳名を銘板に刻み、新体育館内に設置させていただく予定です。

※今後の状況により、顕彰内容等を変更させていただくこともございます。ご了承をお願いいたします。

## 広島修道大学 寄附金

グローバル教育充実支援、地域連携・地域貢献支援、スポーツ・文化活動支援、災害等による家計急変学生支援を目的としています。

本学の教育理念、教育目標をご理解いただき、より一層のあたたかいご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

広島修道大学寄附金  
お申込みはこちらから



## 入学試験案内

オープンキャンパスが終わり、秋から順次2024年度入学試験が始まります。

入試情報サイトでは、入試相談会等のイベント情報や、本学の魅力を知っていただくための動画やパンフレットなど、様々なコンテンツを用意し、受験生に必要な情報をタイムリーに更新しています。是非ご覧ください。



・入試情報サイト



・入学試験スケジュール



## アンケートにご協力ください。

「広報誌TRUTH」および「本学広報」について、ご意見・ご感想をお聞かせください。いただいたアンケート内容は今後の誌面作りおよび広報活動に活用させていただきます。また、アンケートでプレゼントを希望された方の中から、抽選で修大オリジナルグッズをプレゼントします。

アンケートは以下のURLもしくは2次元コードからWEB上にてご回答ください。  
<https://ws.formzu.net/dist/S60470135/>



**PRESENT** 計20名  
修大オリジナル  
マルチペン(スラリマルチ)

抽選で20名様に「修大オリジナルマルチペン(スラリマルチ)ゼブラ(4色&シャープ)」をプレゼント!  
応募締切: 12月20日(水)

※当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

